

研究概要：産官学連携事業

—熊本県・熊本大学大学院（生命科学研究部）・HONDA との共同研究—

平成 24 年度より，熊本大学大学院（生命科学研究部）及び HONDA とモンパルを使用して，**ご利用者の APDL（IADL）** を高め，**その QOL** を向上させる研究をしています。

<テーマ>

要介護高齢者がパーソナルモビリティ「モンパル」を活用して QOL 向上を目指すサポートモデル

<研究者>

熊本県・熊本大学大学院（生命科学研究部）・HONDA・「しん」

<内容>

1. モンパルとは？

電動カート（図）… 歩行者と同じ扱いであるため，免許証は要らない。



ボディカラー：プライマリーレッド

2. 実施状況

ご希望が挙がった「しん」のご利用者を，曜日ごとにピックアップして，**スタッフと共に外出する機会**を作る。



経験された方々のほとんどで満足度が高く，その満足度が本来の目的である APDL（IADL）の拡大に対する自らの意欲の向上に繋がって，外出への楽しみを高めている。

◎モンパルを活用することで，これまで諦めかけていた「自らの力での外出」が可能となり，QOLの向上が引き出せている。

3. 実際の活動の様子（一例）



「ご主人のために、買い物をして調理を
したい」（写真1）

というご希望の方です。

（写真1）

モンパル活動では、

「病気したけれど、こんなことができる」「まだ、自分にはできる」「これもできた」という前向きな
気持ちになるように支援しています。

つまり、

モンパルでの移動だけが目標なのではなく、モンパル活動を通して意欲を引き出すことや生活関連
動作の獲得も目指します。

社会就労センターや一般企業との連携

[「しん」の魅力 参照](#)

「しん」では、しょうがい者授産施設で勤務していた従業員、また、医学的リハビリテーションを担当
していた代表社員の関係で、社会就労センターとの連携を強化しています。

しょうがいを有しながらも、一生懸命に作られたパンは最高の味であり、それを販売する
熱心な姿は、福祉に携わる私たちの模範です。



（写真2）



（写真3）

就労センター職員様がフォローしながら、メンバー様自身が金額を計算し、袋に入れて、「しん」の利用者や従業員に
お渡しされます。（写真2）そして、**工賃を得られた喜びを笑顔で表現されます。**（写真3）